

前置胎盤患者における分娩時出血量と胎盤 MRI 所見の関連性に関する研究

1. 研究の対象

2012 年 1 月～2021 年 6 月に当院で妊娠中に腹部 MRI を撮られた方

2. 研究目的・方法・期間

胎盤は胎児が生まれる前の最も重要な臓器として知られています。胎盤の評価は一般的に超音波検査で行いますが、胎盤の位置や形態異常は MRI の方が分かりやすいこともあり、前置胎盤などの胎盤の付着異常の症例は MRI で評価することが増えてきています。

胎盤の MRI 評価については、あまり不明な点が多く、特に前置胎盤に合併しやすい癒着胎盤の評価については放射線科の間でも意見が分かれることが多いです。今回は、癒着胎盤に関わらず、前置胎盤を有する患者において分娩時出血量と胎盤 MRI 所見が関連しているかどうかを検討するために、過去に取られた腹部 MRI を見直し、妊娠週数、出産時年齢、帝王切開歴などの臨床情報を加味しながら、分娩時に大量出血を起こしうる MRI 所見があるかどうかを検討します。

この研究は学校長承認後から 2028 年（令和 10 年）3 月まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から得られる年齢、性別、既往歴、CT 画像、検査データを用います。

情報、画像、データはすべて匿名化し、個人が特定できないようにして研究に利用します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

取得された個人情報を含む全ての臨床情報は、対応表ありの匿名化をし、個人情報管理者（研究責任者）が防衛医科大学放射線医学講座において、他のコンピューターと切り離し、厳重に管理されたコンピューターを使用して保管を行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記

資料 3

の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

・ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

359-8513 埼玉県所沢市並木 3 - 2 防衛医科大学校病院放射線科学講座

電話番号 04-2995-1511 (代表)

研究責任者 濱邊 布美子 (はまべ ふみこ)

・ 研究代表者：上記